

日本沙漠学会 2012 年度総会

2012 年 5 月 26 日(土) 帯広畜産大学

次 第

開 会

会長挨拶

議長選出

議 事

1. 2011 年度事業報告・決算報告・会計監査報告
2. 2012 年度事業計画(案)・予算(案)
3. 学会賞の審査報告
4. その他

閉 会

1. 2011 年度事業経過・決算・会計監査報告

(1) 2011 年度事業報告

1) 会務報告

a. 会員 2012 年 3 月 31 日現在, 会員数は以下の通り.

名誉会員 : 4 名 正会員 : 327 名

学生会員 : 49 名 賛助会員 : 5 社

購読会員 : 7 機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2011 年度総会

2011 年 5 月 28 日(土) 東京農業大学世田谷キャンパス(1 号館 2 階特一教室)にて開催した.

総会概要は「おあしす」No. 74(2011 年 6 月)に掲載.

(b) 評議員会(第 24 回)

2011 年 4 月 21 日 東京農業大学世田谷キャンパス(7 号館 3 階共通製図室)において開催した. 議事概要は「おあしす」No. 74(2011 年 6 月)に掲載.

(c) 理事会

2011 年度中に第 100~103 回理事会を計 4 回開催した.

第 100 回理事会の議事録を「おあしす」No. 74(2011 年 6 月)に, 第 101 回の議事録を「おあしす」No. 75(2011 年 9 月)に, 第 102 回の議事録は「おあしす」No. 77 に掲載した.

(d) 編集委員会

編集委員会の開催(財務・総務合同委員会 2011 年 10 月 8 日).

沙漠研究 Vol. 21, NO. 1~Vol. 21, NO. 4 を編集し発行した.

(e) 学会賞審査委員会

2011 年度の学会賞審査委員会を 2012 年 4 月 20 日に開催した.

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

Vol. 21, No. 1(2011 年 6 月), Vol. 21, No. 2(2011 年 9 月)

Vol. 21, No. 3(2011 年 12 月), Vol. 21, No. 4(2012 年 3 月)

b. ニュースレター「おあしす」

No. 74(2011 年 6 月), No. 75(2011 年 9 月)

No. 76(2011 年 12 月), No. 77(2012 年 3 月)

c. 日本沙漠学会講演要旨集(第 22 集, 第 22 回学術大会, 2011 年 5 月 28~29 日)

d. Web ニュースレター発行と Web 更新

Web ニュースレター発行 : 2011 年, 5 号(6 月), 6 号(10 月)発行.

Web 更新：更新回数 9 回.

3) 講演会及び研究会等の開催

a. 第 22 回学術大会：

2011 年 5 月 28 日(土)～29 日(日)，東京農業大学世田谷キャンパス(1 号館 2 階特一教室)において，一般研究発表(口頭発表 10 題，ポスター発表 7 題，国際沙漠会議合同シンポジウム 7 題)を行った。また，29 日に学会賞 1 名の受賞者記念講演を行った。

b. 第 1 回国際沙漠会議 ICAL 1 (第 10 回国際沙漠技術会議 DT10)の開催 (20 周年記念事業)

2011 年 5 月 24 日(火)～28 日(土)，千葉県成田市(ホテル東横イン成田空港)および東京農業大学世田谷キャンパスにて開催した。参加者は 29 カ国 142 人(うち海外 65 人)で，発表は日本沙漠学会大会との合同シンポジウムを加えて口頭発表 55 件，ポスター発表 46 件，合計 101 件の発表が行われた。

c. 2011 年度秋季シンポジウム：

2011 年 10 月 8 日(土)，成蹊大学理工学部において，「環境・沙漠・荒漠化：地域性と技術」を統一テーマに秋季シンポジウムを開催した(日本沙漠学会・成蹊大学戦略的研究基盤形成支援事業合同シンポジウム(共催))。

d. 分科会講演会の開催

- ・沙漠工学分科会講演会(第 26 回)：2012 年 1 月 20 日。
- ・乾燥地農学分科会講演会(第 19 回)：2011 年 12 月 5 日。
- ・沙漠誌分科会講演会：2012 年 1 月 9 日。

e. 現地(フィールド)見学会の開催

2012 年 1 月 28 日(土)，千葉大学柏の葉キャンパス環境健康フィールド科学センター内植物工場実験施設にて開催した。参加者 25 名。

f. その他

- ・第 57 回風に関するシンポジウム(主催：日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会，後援：日本沙漠学会など 17 学協会，幹事学会：日本沙漠学会および日本農業気象学会)を「気候変動条件下での風環境の変化・影響」をテーマに，2012 年 3 月 21 日(水)，日本学術会議 5 階会議室にて開催。参加者 65 名。
- ・第 11 回新疆ウイグルシンポジウム(主催：千葉大学環境リモートセンシング研究センター，後援：日本沙漠学会)を，2012 年 2 月 24 日(金)，千葉大学環境リモートセンシング研究センター(1 階 102 講義室)にて開催。

4) 分科会等の活動

a. 沙漠工学分科会：(2012 年 3 月 31 日現在，登録者数：170 名)

会長：高橋 悟(東京農業大学)

幹事：鈴木伸治(東京農業大学)

連絡先（事務局）：〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

Tel: 03-5477-2351, Fax:03-5477-2620

活動実績:第 26 回分科会の講演会を 2012 年 1 月 20 日に東京農業大学世田谷キャンパスで開催. 講演会のテーマは「アフリカ・中近東における農業支援」と題し, 東京農業大学の池田良一氏より「アフリカのネリカ -NERICA の種子生産の視点から-」, 東京農業大学の真田篤史氏より「エチオピア半乾燥地域におけるネリカ栽培の可能性」, NTC インターナショナル(株)の堀田朋樹氏と国際耕種(株)の中山正和氏より「シリアの水資源の有効利用と節水灌漑普及」, 国際協力機構の後藤明生氏より「水利用からみたウガンダの風土特性とネリカ栽培における課題」の講演を開催. 参加者 41 名.

b. 乾燥地農学分科会：(2012 年 3 月 31 日現在, 登録者数：200 名)

会 長：的場泰信

連絡先（事務局）：〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241-438

秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科 気付

石川祐一 Tel: 018-872-1620 Fax:018-872-1677

E-mail : yu_ishikawa@akita-pu.ac.jp

活動実績：「講演・国際交流等」, 「会報」, 「情報・出版」, 「研究開発」などのワーキンググループに分かれて調査, 研究, 実践活動を実施. 2011 年 12 月 5 日に第 19 回講演会「東日本大震災の現状と復興－沙漠の技術は大震災に適用可能か－」（話題提供者：えどがわ環境財団 土屋信行氏「東日本大震災から私たちは何を学ぶのだろうか」, 東京大学 登坂博行氏「水・物質・熱循環シミュレーションの役割－東日本大震災にあたって－」, 農村工学研究所 今泉眞之「空中γ線探査による放射性物質汚染の除染評価」, 分科会幹事 杉本英夫氏「塩害農地のレメディエーション－土壌改良による除塩, 油汚染, 海成粘土の対策技術－）を開催し, 38 名の参加者を得た. 分科会機関紙「CADAL ニュース」第 57 号を 3 月 10 日付けで発行し, 204 部を分科会会員ならびに講演会参加者に配布した. 分科会の活動状況をさらに広く情宣するための情報発信として, 分科会 Web ページを学会ホームページ下に移設した. また, メーリングリストを開 設・運用している. 関連する講演会・シンポジウムの開催および参加者の情報提供等に利用されている.

c. 沙漠誌分科会：(2012 年 3 月 31 日現在, 登録者数：116 名)

会 長：牛木久雄（元国際協力機構国際協力専門員）

連絡先(事務局)：〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学文学部人文社会学科（地域環境学コース）

相馬秀廣 Tel・Fax：0742-20-3324

E-mail : hsohma@cc.nara-wu.ac.jp

活動実績: (1) 第 1 回国際沙漠会議 (第 10 回国際沙漠技術会議)・日本沙漠学会第 22 回学術大会の合同セッションにおいて「初代会長小堀巖先生のメモリアルセッション」を開催した。H. NAWATA, S. ISHIYAMA, A. A. YAZDY, H. SOHMA and H. WUSHIKI の 4 つの発表があり, その内容は, 沙漠研究 21-2, 63-79 に掲載された。(2) 日本地理学会乾燥・半乾燥地域研究グループおよび科研費「乾燥・半乾燥地域の遺跡立地と景観復元を目指した衛星考古地理学的研究」グループと, 合同研究会「多様な視点からみるモンゴル研究—深化を求めて—」を 2012 年 1 月 9 日に早稲田大学戸山キャンパスにて開催した。第 1 部「古環境と人間活動」では, 鹿島 薫 (九州大学院・理) 他: モンゴルにおける水資源環境の長期的変動の復元, 白石典之 (新潟大学超域学術院): モンゴルの興隆と古環境, 相馬秀廣他: 衛星考古地理学からみるモンゴル南部オムノゴビ県の遺跡と環境変化 (予報), 井黒 忍 (早稲田大学高等研究所): 清代の地図・文献資料を用いたゴビの地名比定—サイリン・バルガスを例として—, 第 2 部「自然環境および近代以降の人間活動」では, 篠田雅人 (鳥取大学乾燥地研究センター): モンゴルにおける気象災害とその能動的対応, 尾崎孝宏 (鹿児島大学法文学部): 近現代における人間活動の変遷—草原利用を中心として—, コメントとしてダゴラ (奈良女子大学・院): モンゴル宗教史からみるオボの位置づけが紹介され, 総合討論の後, 牛木分科会会長による「まとめ」が行われた。

d. **風送ダスト研究会**: (2012 年 3 月 31 日現在, 会員数: 17 名)

会長: 三上正男 (気象庁気象研究所)

連絡先 (事務局): 〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1

気象庁気象研究所 環境・応用気象研究部

TEL: 029-853-8613 FAX: 029-855-7240

活動実績: 昨年 3 月に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により, 大量の放射性核種が大気中及び海洋中に放出されたため, 高濃度汚染のため住民避難区域となっている福島県川俣町山木屋地区小学校校庭において, 強風に伴う飛砂粒子 (セシウム等の放射性物質が付着していると考えられる) の飛散過程と実態把握の観測を実施とその取りまとめを行った。研究会としての企画や講演会は実施しなかった。

5) **国内外の研究者・関係機関との交流及び協力**

- a. 日本地球惑星科学連合への協力・活動.
- b. 日本学術会議農学委員会への協力・活動.
- c. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力・活動.
- d. 中国新疆ウイグルの環境変動に関するシンポジウムへの後援.
- e. 風に関するシンポジウムへの後援.

(2) 2011年度決算報告

日本沙漠学会 2011年度決算(案)

(2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位:円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	6,026,357	6,026,357	—	
	会費	2,564,000	2,626,000	-62,000	
	1)入会金	26,000	30,000	-4,000	正会員13名, 学生会員13名
	2)正会員費	2,200,000	2,136,000	64,000	246名 (+過年度及び前納29名)
	3)学生会員費	150,000	140,000	10,000	26名 (+過年度及び前納4名)
	4)購読会員費	88,000	70,000	18,000	7機関 (2機関2回振込, 1機関8,000円)
	5)賛助会員費	100,000	250,000	-150,000	2機関 (3機関前年度振込)
	助成金	0	0	0	
	その他収入	573,842	650,000	-76,158	
	1)別刷代	493,000	640,000	-147,000	「沙漠研究」別刷代 (Vol21, No3まで)
2)その他	80,842	10,000	70,842	「沙漠の事典」印税 (115部), 利息	
	合計	9,164,199	9,302,357	-138,158	
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星連合団体年会費
	学会誌発行費	2,167,785	2,850,000	-682,215	「沙漠研究」20-4, 21-1, 21-3
	1)印刷費	1,533,270	2,300,000	-766,730	「沙漠研究」印刷代, 別刷代
	2)編集費	300,000	300,000	0	定額にて依頼
	3)発送費	334,515	250,000	84,515	発送手数料・郵送料(EMS 4件)
	活動準備金	168,115	505,000	-336,885	
	1)大会預託金	0	200,000	-200,000	5/28～29 東京農大
	2)シンポジウム預託金	10,285	100,000	-89,715	夏季シンポジウム開催経費 (会場料)
	3)分科会交付金	157,830	205,000	-47,170	2分科会 (乾燥地農学, 沙漠工学)
	表彰費	5,250	20,000	-14,750	学会賞表彰状作成
	会議費	4,194	30,000	-25,806	評議員会・理事会経費
	事務運営費	161,686	700,000	-538,314	
	1)通信・輸送費	63,751	150,000	-86,249	振替手数料, 会費請求等郵送代
	2)印刷費	48,435	200,000	-151,565	会議資料, 会費請求書・調査用紙
	3)事務費	31,500	100,000	-68,500	消耗品費等
	4)人件費	18,000	200,000	-182,000	事務処理等手伝いバイト代
	5)交通費	0	0	0	
6)諸雑費	0	50,000	-50,000		
(小計)	2,517,030	4,115,000	-1,597,970	(経常費合計)	
20周年記念事業費	-500,000	500,000	-1,000,000		
1)記念事業	0	0	0		
2)ICAL1 預託金	-500,000	500,000	-1,000,000	前年度預託金返金	
予備費	0	200,000	-200,000		
次年度繰越金	7,147,169	4,487,357	2,659,812		
	合計	9,164,199	9,302,357	-138,158	

貸借対照表

(2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
郵便振替口座	614,130	借入金	0
三菱東京UFJ銀行	6,511,655	次期繰越金	7,147,169
現金	21,384		
合計	7,147,169	合計	7,147,169

会計監査報告

日本沙漠学会 2011 年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2012年4月14日

日本沙漠学会 監事 安部 征雄

日本沙漠学会 監事 渡邊 文雄

2. 2012 年度事業計画及び予算案

(1) 事業計画(案)

1) 会務

a. 会員

2012 年 4 月 1 日現在, 会員数は以下の通り

名誉会員: 4 名 正会員 : 324 名

学生会員: 48 名 賛助会員: 5 社

購読会員: 7 機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2012 年度総会, 2012 年 5 月 26 日

帯広畜産大学 講義棟 25 番教室にて開催.

(b) 理事会 2012 年 4 月 20 日 (第 104 回) 他 4 回開催.

(c) 評議員会(第 25 回) 2012 年 4 月 20 日 東京農業大学世田谷キャンパス(7 号館 1 階木工室)において開催.

(d) 総務委員会 適宜開催する.

(e) 財務委員会 適宜開催する.

(f) 編集委員会 適宜開催する.

(g) 企画委員会 適宜開催する.

(h) 学会賞審査委員会 適宜開催する.

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」Vol. 22 No. 1 (2012 年 6 月), No. 2 (2012 年 9 月), No. 3 (2012 年 12 月), No. 4 (2013 年 3 月)

b. ニュースレター「おあしす」No. 78 (2012 年 6 月), No. 79 (2012 年 9 月), No. 80 (2012 年 12 月), No. 81 (2013 年 3 月)

c. 日本沙漠学会講演要旨集 (第 23 集)

d. Web ニュースレターの適宜発行.

e. 日本沙漠学会ホームページの適宜更新, 入会案内の更新.

3) 講演会の開催

a. 第 23 回学術大会 2012 年 5 月 26 日(土)~27 日(日)

帯広畜産大学にて開催予定(総会・記念講演会・研究発表会など).

b. 秋季シンポジウム 2012 年 10 月下旬(都内)

沙漠緑化 NGO 活動の四半世紀 -回顧と将来への展望-(仮題)

c. 分科会講演会の開催

・沙漠工学分科会講演会 2012 年 11 月に第 27 回を開催予定.

・乾燥地農学分科会講演会 2012 年 11 月に第 20 回講演会を開催予定.

・沙漠誌分科会講演会 2012 年秋に講演会を開催予定.

- ・風送ダスト研究会講演会を開催予定.
- d. 2012年公開シンポジウム(帯広市(第23回学術大会))を開催予定.
- e. その他, 適宜ミニシンポジウムを開催.

4) 分科会講演会等の活動

a. 沙漠工学分科会

- ・2012年11月に第27回講演会を開催予定.
- ・見学会, 研究会などの新規行事の検討を行う.

b. 乾燥地農学分科会

- ・2012年11月に分科会講演会を開催予定.
- ・分科会機関誌「CADALニュース」を発行予定.
- ・Webページの情報更新を行なう予定.
- ・メーリングリストにおける情報交換をさらに拡充する予定.
- ・その他, 分科会会員の要望を集約し, 新たな体制強化を図る.

c. 沙漠誌分科会

- ・「アフリカから中東地域にかけての生活・文化(仮題)」をテーマに分科会を開催予定.開催場所は関西地域にて予定.
- ・メーリングリストを活用し, 情報交換, 会員の要望集約などを積極的に図る.

d. 風送ダスト研究会

- ・福島県川俣町山木屋地区小学校校庭での飛砂粒子(セシウム等の放射性物質が付着していると考えられる)の飛散過程と実態把握の継続観測.
- ・モンゴルにおける飛散過程の継続的観測.
- ・飛砂粒子の過程と実態把握に関する研究会の開催を予定.

5) 国内外の研究者・関係機関との交流および協力

- a. 日本地球惑星科学連合における活動協力.
- b. 日本学術会議農学委員会における活動への協力.
- c. 地理学連携機構・地理関連学会連合の活動への協力.
- d. その他 国内外の講演会等への参加をはじめとして研究者・関係機関との交流と積極的協力.
- e. 風工学シンポジウム(第22回)活動への協力.

6) その他本会の目的達成のための事業

- a. 現地見学会など必要な事業を随時開催予定.

(2) 2012年度予算

日本沙漠学会 2012年度予算(案)

(2012年4月1日～2013年3月31日)

(単位:円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	7,147,169	6,026,357	1,120,812	2011年度決算額
	会費	2,848,000	2,564,000	284,000	
	1)入会金	26,000	26,000	0	
	2)正会員費	2,352,000	2,200,000	152,000	
	3)学生会員費	150,000	150,000	0	
	4)購読会員費	70,000	88,000	-18,000	7機関
	5)賛助会員費	250,000	100,000	150,000	5機関
	助成金	0	0	0	
	その他収入	680,000	573,842	106,158	
	1)別刷代	640,000	493,000	147,000	別刷代
2)その他	40,000	80,842	-40,842	「沙漠の辞典」印税, 利息	
	合計	10,675,169	9,164,199	1,510,970	
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星連合団体年会費
	学会誌発行費	2,850,000	2,167,785	682,215	「沙漠研究」年間4冊発行
	1)印刷費	2,300,000	1,533,270	766,730	「沙漠研究」印刷代, 別刷代
	2)編集費	300,000	300,000	0	定額にて依頼
	3)発送費	250,000	334,515	-84,515	発送手数料・郵送料
	活動準備金	505,000	168,115	336,885	
	1)大会預託金	200,000	0	200,000	学術大会開催経費
	2)シンポジウム預託金	100,000	10,285	89,715	シンポジウム開催経費
	3)分科会交付金	205,000	157,830	47,170	
	表彰費	20,000	5,250	14,750	学会賞表彰状作成
	会議費	30,000	4,194	25,806	評議員会・理事会経費
	事務運営費	700,000	161,686	538,314	
	1)通信・輸送費	150,000	63,751	86,249	振替手数料, 会費請求郵送代
	2)印刷費	200,000	48,435	151,565	会議資料, 窓付封筒印刷
3)事務費	100,000	31,500	68,500	消耗品費等	
4)人件費	200,000	18,000	182,000	事務処理等手伝いバイト代	
5)交通費	0	0	0		
6)諸雑費	50,000	0	50,000	Webサーバー管理費	
	(小計)	4,115,000	2,517,030	1,597,970	(経常費合計)
	予備費	200,000	-500,000	700,000	経常費の5%
	次年度繰越金	6,360,169	7,147,169	-787,000	
	合計	10,675,169	9,164,199	1,510,970	

3. 学会賞の審査報告

平成 23 年度 日本沙漠学会 奨励賞

氏 名：菅沼秀樹 会員

テーマ：乾燥地大規模植林の評価に関する研究

4. その他

2011～2013 年度日本沙漠学会役員

会 長	豊田裕道
副 会 長	小島紀徳 長島秀樹
監 事	安部征雄 渡邊文雄

理 事(総務担当)	高橋新平	田島 淳
(財務担当)	矢沢勇樹	白石雅美
(編集担当)	中村 徹	森尾貴広
(企画担当)	牛木久雄	川端良子
(学会賞担当)	相馬秀廣	吉川 賢

評議員	安部征雄	石川祐一	石山 隆	磯田博子	牛木久雄
	川端良子	北村義信	小島紀徳	酒井裕司	篠田 裕
	白石雅美	鈴木 潤	相馬秀廣	高橋 悟	高橋新平
	田島 淳	豊田裕道	長島秀樹	中村 徹	縄田浩志
	西牧隆壯	西村 拓	平田昌弘	真木太一	松本 聰
	森尾貴広	矢沢勇樹	山田パリーダ	吉川 賢	渡邊文雄

委員会

総務委員会(※¹委員長)

高橋新平 ^{※1}	田島 淳	鈴木伸治	島田沢彦	橘 隆一
石山 隆(Web Master)				

財務委員会(※¹委員長)

矢沢勇樹 ^{※1}	白石雅美	篠田 裕
--------------------	------	------

編集委員会(※¹委員長 ※²副委員長 ※³編集事務局)

中村 徹 ^{※1}	森尾貴広 ^{※2}	安部征雄	小島紀徳	石川祐一	石山 隆
磯田博子	梅村 坦	北村義信	周 建中	白石雅美	相馬秀廣
高橋新平	杜 明遠	豊田裕道	長島秀樹	縄田浩志	西崎 泰
平田昌弘	山田パリーダ	吉川 賢	菅沼秀樹 ^{※3}		

企画委員会(※¹委員長)

牛木久雄 ^{※1}	川端良子	西牧隆壯
--------------------	------	------

学会賞審査委員会(※¹委員長 ※²幹事)

相馬秀廣 ^{※1}	吉川 賢	鈴木 潤	高橋新平 ^{※2}
--------------------	------	------	--------------------

学会事務局

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会総務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

高橋新平：東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 造園地被学研究室

Tel：03-5477-2424 Fax：03-5477-2625 E-mail: shinpei@nodai.ac.jp

田島 淳：東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 農業ロボット工学研究室

Tel：03-5477-2346 Fax：03-5477-2620 E-mail: tajima@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会財務担当】

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

矢沢勇樹：千葉工業大学 津田沼キャンパス 工学部 生命環境科学科

Tel：047-478-0409 E-mail：yuuki.yazawa@it-chiba.ac.jp

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 2-28-21

白石雅美：Tel：03-3994-3257 Fax：03-3994-3594

E-mail：shira - am.m@kxf.biglobe.ne.jp

【日本沙漠学会編集委員会】

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

中村 徹：筑波大学 生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻

森林生態環境学研究室 Tel：029-853-4629 Fax：029-853-4629

E-mail:nakamura.toru.gp@u.tsukuba.ac.jp

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

森尾貴広：筑波大学北アフリカ研究センター

Tel：029-853-6519 Fax：029-853-5776

E-mail: morio.takahiro.fu@u.tsukuba.ac.jp

編集事務局：

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

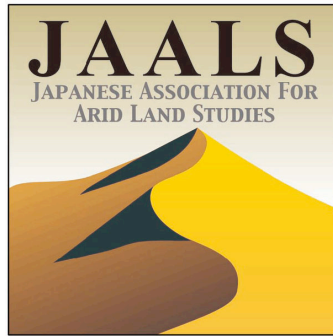
菅沼秀樹：成蹊大学 理工学部 物質生命理工学科内

Tel/Fax：0422-37-3750/0422-37-3871

E-mail: jals.editorial@gmail.com

※ 学会誌「沙漠研究」、ニューズレター「おあしす」への投稿

メール完全版はファイル（容量 1.5M 以下、分割送付可）を上記宛編集委員長へ、およびハードコピー1部を総務担当へ送付。不完全版の場合は text 部分のみ添付し編集委員長へ、およびハードコピー3部を上記総務担当へ送付。



日本沙漠学会